

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和元年度中間）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアのマッチング事業については、画期的な取組として地活協外との連携を促した。 ・懸案となっていた電子広報媒体の活用について、市民総合ポータルサイトへの全地域の登録やクラウドサービスの活用により地域運営の透明性を図る足がかりができた。 ・地域間・地域内での課題認識に関する格差解消を図り、より一層自律を進める支援に取組んでほしい。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等
- (2-2) フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源獲得に関する支援により、地域の課題解決に取り組む意識が高まり、地域が自律的に活動することができるようになっている。 ・他区の情報収集し、地域にとって有益なアドバイスを行うなど、複数区で受託している強みが活かされている。また、区と、地域情報を共有し、支援の方向性について、互いに調整・確認できている。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアの受入事業について、受入地域の特性を把握し、地域に貢献する人材の育成に関わる事業に着手したことは大いに評価できる。 ・「Open Street Map」を有益なツールとして、ICTを活用した地域防災福祉マップの制作プロジェクトを支援し、地域自らが新しい活用方法を考案し、取組むことになったのは大きな成果となった。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地活協設立当初からの受託事業者であり、地域の支援に対する満足度は高く、また地域の自律度も向上しており、中長期的な視点で、地域に寄り添ってきた効果が表れている。今後、地域実情に即して（地域の自律度に応じて）派遣型支援から拠点型支援へと支援手法の切り替えも見据えて地域の支援に取り組んでほしい。 ・学生ボランティアとのマッチング事業や市民活動総合ポータルサイトの活用については、今までにない新たな取組みであり、効果的なものとなるよう、地域のニーズや状況を把握しながら取組んだ。今後、地域と大学（学生ボランティア）が連携しながら地域活動に取り組む仕組みが生まれることやICTを活用した地域運営の取組みが進展していくことを期待している。 ・ICTを活用した地域防災福祉マップの制作プロジェクトについては地域課題を解決する有益なツールとして、地域と他の活動主体とのマッチングを行い、支援に取り組んだ。地域と協議しながら早期に今後の事業計画を立て、マップ制作プロジェクトを軌道に乗せるとともに制作成果について他地域とも共有することができるよう支援に取り組んでほしい。

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。